

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2023年
11月24日
第156号



フッソウゲ (アオイ科)

今、温室内で花が咲いています。俗にハイビスカスと呼ばれますが、ハイビスカスとは本来はこの種が属するフヨウ属のラテン名で、多くの園芸種の総称となります。本種は熱帯性の低木で、漢名は仏桑花、扶桑花です（ただし、現代中国語名は朱槿 zhūjīn）。江戸時代に琉球から日本へ流入したとされています。中医学では、根が生薬、フッソウコン（扶桑根）、葉がフッソウヨウ（扶桑葉）、花がフッソウカ（扶桑花）の原料となり、根と花が調経を目的に月経不順、血崩、帯下、白帯などに、根が解毒を目的に気管支炎、尿路感染、子宮頸炎などに、葉と花が解毒を目的に外用で瘡瘍腫、乳腺炎、リンパ腺炎などに、花が清肺化痰を目的に、咳嗽、鼻衄などに使用されるそうです。日本の漢方医学では使われません。

ローゼルソウ (アオイ科)

今、第二圃場で果実が見られています。萼と苞の肥大化した部分が、酸味があり生食できるほか、ジャムやゼリー、清涼飲料水などに加工して利用されます。また、この部分を乾燥させて、ハイビスカスティーと呼ばれる茶材として飲用されます。本種の中国での植物名および根を原料とする生薬名がマイカイカ（玫瑰茄）で、中医学では根を止咳、降圧を目的に、咳嗽、動脈硬化、高血圧などに使用するそうです。ところで日本語読みで同じ発音となる玫瑰花は、中国ではバラ科全般の植物の花を指し、日本ではバラ科ハマナスのつぼみを原料とする生薬名です。また、同じく玫瑰果は、イヌバラなどの果実を指す中国語で、日本や欧米でローズヒップと呼ばれる茶材です。ハイビスカスティーとローズヒップティーは、よくブレンドされるので、中国語でこのような名前が付いたのでしょよね。ややこしいです。